

特別展

ひみのたからもの

— 能登半島地震と文化財レスキュー —

令和7年 **10月17日(金)~11月9日(日)**
氷見市立博物館 特別展示室 午前9時~午後5時

休館日 10月20日(月)・10月27日(月)・11月4日(火)

資料解説会 10月18日(土) 午後2時より〈参加自由〉

観覧
無料

震災を越えて受け継ぐ、氷見のたからもの

令和6年能登半島地震では、能登半島付け根に位置する富山県氷見市においても観測史上最大となる震度5強を観測し、市内各所で多大な被害が発生しました。

そうした状況の中、発災直後から氷見市立博物館が取り組んできたのが文化財レスキューです。被災地における文化財レスキューは、未指定を含む地域にとって貴重な文化財を守り、後世に伝えていくために欠かすことのできない取り組みです。

氷見市の文化財レスキューでは、令和6年1月以来、件数にして50件超、数にして数万点におよぶ文化財を被災家屋からレスキューし、資料を受け入れてきました。それら文化財レスキューによって寄せられた資料は、まさに氷見の歴史や文化を知るうえでかけがえのない「たからもの」だといえるでしょう。

本特別展では、当館がレスキューした古文書や古写真、民具など、市民の皆様から寄贈・寄託されたさまざまな資料を紹介します。



日中戦争および太平洋戦争関連資料



「五榜の掲示」高札（慶応4年（明治元年）3月）



酒造用具



婚礼装束（打掛け）

氷見市立博物館

〒935-0016 富山県氷見市本町4番9号

TEL.0766-74-8231 FAX.0766-30-7188

E-mail: hakubutsukan@city.himi.lg.jp

U R L: <https://www.city.himi.toyama.jp/section/museum/>

●交通機関

鉄 道／JR 氷見線氷見駅下車、北西へ500m 徒歩7分。

バ ス／高岡駅前から加越能交通バス氷見方面行、「南大町口」下車、徒歩1分。

自動車／能越自動車道氷見インターから東に3km。

●氷見市立博物館は、氷見市教育文化センター内にあります。

